

ハイブリッド方式
 十月二十九日(金)、
 結成七十周年記念全国へ
 き地教育研究大会宮崎大
 会が開催され、本校も分
 科会F会場校として授業
 を公開しました。宮崎大
 会スローガン『神話の里

「全国へき研終了」

『全国に授業公開できました！』

須木中通信



「全国へき地教育 研究大会宮崎大会」

みやざきで ふるさとの
 未来を創る子どもを育て
 よう！』を合い言葉に、
 一年生は音楽、二年生は
 社会、三年生が総合的な
 学習の時間の授業を公開
 することができました。
 たくさんの先生方が参
 観される中、生徒たちは
 ハキハキと自分の考えを
 発表したり、表現したり、
 タブレットPCを操作し
 たりと、普段の学習の成
 果を披露することができ
 ました。また、三年生の

授業は全国のリモート参
 加者にも配信されました。
 須木中学校が、このよ
 うな公式な研究大会で実
 際の参観方式と遠隔地域
 に配信するハイブリッド
 方式を採用できたのは画
 期的な事でもあります。
 これも小林市教育委員会
 からGIGAスクール推
 進モデル校としての研究
 指定を受けて全職員と全
 校生徒が取り組んできた
 成果でもあります。須木
 中学校が公開した授業や



ICT機器の活用が西諸
 県地区の小中学校にモデ
 ルとして広がっていく事
 も期待します。
 参観された先生方から
 は、須木中の取組はもち



ろんですが、生徒たちの
 堂々とした授業の様子や
 表現する力、タブレット
 PCを当たり前のように
 操作する姿に高い評価を
 いただきました。

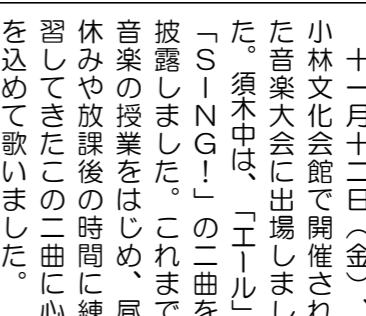


県もの作り大会

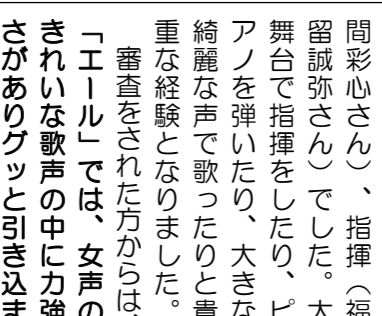
宮崎県ものづくり大会
 が開催され、前田理稀さ
 ん(三年)、四位朋華さ
 ん(二年)が参加し、優
 秀な成績を修めました。
 二人は、昼休みや放課
 後の時間を活用し、小田
 教諭の熱心な指導のもと
 で練習を重ねながら技能
 を高めてきました。
 大会当日は、練習の成
 果を発揮し、すばらしい
 作品を完成させました。

第七十四回西諸県地区 「小中学校音楽大会」

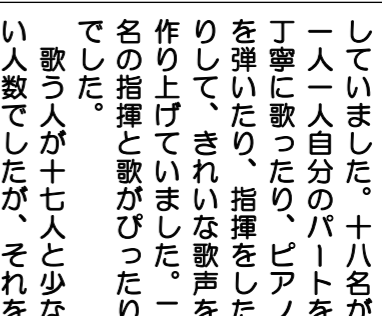
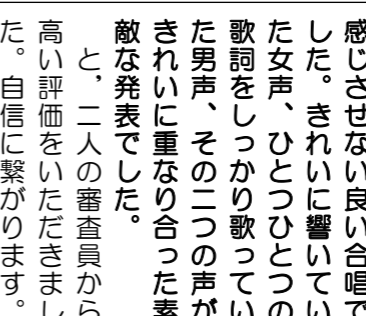
十一月十二日(金)、
 小林文化会館で開催され
 た音楽大会に出場しまし
 た。須木中は、「エール」
 「SING!」の二曲を
 披露しました。これまで
 音楽の授業をはじめ、昼
 休みや放課後の時間に練
 習してきたこの二曲に心
 を込めて歌いました。



「エール」は、本原出
 身の下成佐登子さんが作
 詞・作曲された曲です。
 伴奏(齊藤先生)、指揮
 (蒲生悠翔さん)、「S
 ING!」は、伴奏(中
 間彩心さん)、指揮(福
 留誠弥さん)でした。大
 舞台で指揮をしたり、ピ
 アノを弾いたり、大きな
 綺麗な声で歌ったりと貴
 重な経験となりました。
 審査をされた方からは、
 「エール」では、女声の
 きれいな歌声の中に力強
 さがありグッと引き込ま



れました。女声を男声が
 うまく支えて歌っており、
 一体感ある歌声でした。
 「SING!」では、
 女声がリードしながら美
 しいハーモニーを作りだ
 していました。十八名が
 一人一人自分のパートを
 丁寧に歌ったり、ピアノ
 を弾いたり、指揮をし
 りして、きれいな歌声を
 作り上げていました。二
 名の指揮と歌がぴったり
 でした。



歌う人が十七人と少な
 い人数でしたが、それを
 感じさせない良い合唱で
 した。きれいに響いてい
 た女声、ひとつひとつの
 歌詞をしっかりと歌って
 いた男声、その二つの声
 がきれいに重なり合った素
 敵な発表でした。
 と、二人の審査員から
 高い評価をいただきました。
 自信に繋がります。

参観日・講演会

十一月十日(水)の参
 観日に、学校保健に関す
 る講演会を実施しました。
 お片付けコンシェルジュ
 の堀内先生に、「夢や目
 標を叶える大事な事」の
 演題で、部屋の片付けや
 身近な整理整頓の重要性
 や意味について教えてい
 ただきました。片付け実



コンサート開催

十二月二十日(月)、
 須木地区体育館にて十三
 時三十分よりスクールコ
 ンサートを開催します。
 熊本県の専修大学玉名
 高等学校の吹奏楽部(四
 十七名)が全国トップク
 ラスの演奏演技を披露し
 てくださいます。六十分
 程度のコンサートですが、
 どなたでも入場できます。
 入場希望の方は、事前
 に連絡をお願いします。
 「TEL 四八二〇〇四」

12月の主な行事!

- 1日(水) みやざき小中学校学習
 状況調査(2年)~2日
- 3日(金) 非以南訓練
- 6日(月) 読書週間~10日
- 7日(火) 全校集会
- 8日(水) ロードレース大会
- 9日(木) 読み聞かせ(1・2年)
- 12日(日) 学習成果発表会
- 13日(月) 振替休日
- 14日(火) 人権教育講演会
- 16日(木) しめ縄作り
- 20日(月) スクールコンサート
- 24日(金) 2学期前半終了日
 冬休み前集会
- 25日(土) 冬季休業~5日

「MRTラジオ私 たちの作文！」

「将来の夢」
一年 村社 奏

僕の将来の夢は保育士になることです。理由は僕の母が保育士をしており、それに対してあこがれを抱いているからです。仕事をしているとき姿を見たことがあるのですが、そのときの母は本当に楽しそうな姿で、まぶしく見えたのを覚えてい

「もともと児童から見たかな・健やか・心なかな・豊たかな・学力未かな・確かな」 須木中学校区の教育目標

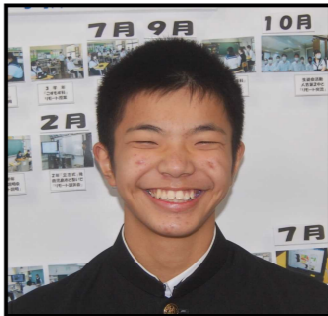
また、母はいつも保育園では園児に向かっつと笑顔で接していたので本当に「すごいな」と尊敬しました。いつか「お母さんのような保育士になりたい。」と思うっていたのですが、最近、母や先生に「教師になったらいんじゃない。」と言われてきました。僕は、保

育士になりたいと思っただけですが、母に聞くと「教師の方がいいかもよ。」とやはり言われました。そう言われると個人的には、「教師のほうがいいかもしれない。」と少し心が揺れ動きました。しかし、よく考えてみると、教師は難しい職業であることに気がまきました。なぜなら、教師は字を綺麗に書かなければならないですし、さらには難しいことを教えなければいけないからです。自分を振り返って考えてみれば、自分自身が色んな知識を覚えることにも苦勞するの、人に教えるなど想像がつかえません。ですから、「教師」は難しいと思います。いろいろと自分の将来や、職業について思いをめぐらせていると、また、重要なことに気づくことがあります。それは保育士も「人に教える。」そして「人を育てる。」ことを中心とした職業であったということです。そして小・中・高の「教師」は大変ですが、「保育士」は難しくないと考えている自分にも気づきました。小学生より幼い子ども達をどう育て、教えていくのか、そこも分かっています。僕は、自分の将来にしたい職業をもっと調べていく必要があります。「好きだから」「や」「あこがれだから」という理由で職業を選んでいくのも大切だと思いますが、もっと調べてみて「どの様な仕事内容なのか。」「やりがいは何なのか。」「自分にあっていくのか。」「仕事に必要な技術は何なのか。」「などを理解していきたいと思っています。

「夏休みに考えたこと」
二年 四位 朋華
みなさんは平和について何が必要だと思いますか。私は「相手を思いやること」と、「人の言葉や行動への受け取り方」を変えることが大事だと思います。
まず、相手を思いやるのが大事だと考えた理由は、他人が迷惑に思うことや辛い思いをするのをしなれば、戦争やいじめなどは起こらないと思っただけです。むしろ、相手のことを考えて幸せにする方法や、傷つけている心を思いやって声をかけたりすれば、色々なことが、良い方向へ進んでいくのではないのでしょうか。人を思いやるのが大切なのは当たり前と思うかもしれませんが、結局は、ここが争いごとを無くしていく根本ではないかと私は思っています。
次に受け取り方についてですが、例えば善意でされた事をそうされるのが当たり前だと思ってしまうとそれは善意ではなく奉仕になってしまします。だからお互いが思い合うためには、受け取り方で善意のリレーをつないでいけると思いました。
私は二つ、平和に必要と思うことを書きました。が、私は、思いやることも大事ですが、受け取り方の方が今は重要だと思っています。なぜかということ、私も含めてですが、相手の善意に気づかず、そうされて当たり前と考えてしまい、感謝の言葉を伝えなかつたり、逆に腹を立てたりしている人がいるからです。おそろしく想像力が足りないということ、そういったことを考える心のゆとりがないからだと思います。受け取り方は人それぞれですが、あらゆることに想像力を働かせて考えていけば、違った視点でものを見ることができるようではないでしょうか。
私は何かしてもらったのならば、どんなに小さなことでも、感謝の言葉を伝えなくてはいけないと思います。そして、受け取った善意をまた違う人につなげていくのも大切だと思えます。そして世界で善意のリレーをつないでいけたら、日本だけでなく世界が平和になると思えます。
そのためにはまず自分からだと思うので私がリレーの一番走者になりたいと思います。

「新生徒会」が スタートしました！

「生徒会長」
二年 假屋 冴爾さん



Q: 生徒会長になってからの気持ちの変化や行動の変化はありましたか？
A: 僕は生徒会長になって、とても責任を感じます。今まで生徒会書記として活動していましたが、会長になると仕事の量がぐんと増え、人前に立つ機会が増え、書記と会長では全然違います。しかし、会長になってから人に頼られる事が多くなったような気がしています。とても嬉しくて喜ばしい事です。今後とも頼られるようになるために生徒会長らしく責任ある行動を心がけたいです。

Q: 須木中学校をどのような学校にしていきたいですか？課題解決に向けて、生徒会組織としてどんな取組をしていこうと考えているのか、具体的に教えてください。
A: 僕はみんなが楽しいと感じる学校にしていきたいと考えています。生徒集会等でのレクリエーションなどにも積極的に取り組み盛り上げていきたいです。また、課題は「コミュニケーションスキル」です。授業中ですが、外部講師の講演時など発表や意見が少なくなります。僕自身が自ら発表して周りをリードしたいと思います。

Q: 保護者や地域の方々から須木中学校のPRをお願いします。
A: 須木中はとっても元気な学校で、学年の枠を超えて仲のよい学校です。挨拶はどの学校よりすばらしいと自信があります。登下校中をはじめとする僕たちの挨拶を観てください。

「生徒会副会長」
一年 中間 彩心さん



Q: 副会長になってからの気持ちの変化や行動の変化はありましたか？
A: 副会長になった当初は特に気持ちの変化はありませんでしたが、生徒会の色々な仕事を経験していくうちに自分のやるべき事にしっかりと責任をもって行わなければならないと思うようになりました。また、生徒会は学校を引っ張る存在なので、何事にも率先して行動していけるように頑張っています。

Q: 須木中学校をどのような学校にしていきたいですか？課題解決に向けて、生徒会組織としてどんな取組をしていこうと考えているのか、具体的に教えてください。
A: 私はこれから須木中学校を明るく楽しく過ごせる学校にしていきたいです。そのためには、まず挨拶が大切だと思います。友だちや先生方と朝の挨拶で「コミュニケーション」をとって、一日を明るくスタートさせれば楽しく過ごせると思います。生徒集会等での挨拶練習にもしっかりと取り組んで、日頃からきちんと挨拶ができるように心がけていきたいです。

Q: 保護者や地域の方々から須木中学校のPRをお願いします。
A: 須木中学校は全校生徒がとても仲が良く、いつも賑やかに活動しています。普段からみんなで協力して色々な事に頑張っています。毎日がとても楽しい学校です。

※生徒会長と生徒副会長にインタビューしました。自分の事だけでなく、学校全体を考えての言動に頼もしく感じます。小さな学校から大きな成果が得られるよう期待します。

表彰おめでとう
小林市戦没者追悼奉賛会主催の「平和への想い」作文で優秀賞を受賞！
二年 假屋 冴爾さん
『がんばりました。』



青少年育成市民 会議標語選考！



青少年育成市民会議須木支部で挨拶や人権に関する標語を募集しました。多数の応募作品から優秀作品が選考されました。
「最優秀賞」
三年 柳瀬光喜さん
多様社会 互いの個性 認め合おう
「優秀賞」
二年 富永幸輝さん
あいさつは 防犯になる 魔法の言葉
「優秀賞」
一年 中間彩心さん
あいさつで 繋げていこう 地域の輪

作品は、のほり旗にして地域の各所に設置してあります。

西諸県地区生徒 会サミット開催

十月二十九日(金)、青年会議所主催の生徒会サミットが開催されました。一部は、県立飯野高等学校の生徒たちの地域貢献活動を通じた実践発表でした。

一部は、参加した東府中、高原中、須木中の生徒会役員が各学校で実践しているSDGsや挨拶に関する実践発表を行いました。意見交換を行いました。全体の司会進行を、鎌田美月さん(三年)が務め、参加者からの意見を引き出し、まとめました。

